

新编日本语 能力考试

1 级 综合训练及解题指导

主编：乐燕子 许赛锋



东华大学出版社

新编日本语 能力考试

1 级

综合训练及解题指导

主编 乐燕子 许赛锋



东华大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

新编日本语能力考试1级综合训练及解题指导/乐燕子,许赛锋编. —上海:东华大学出版社,2007.1

ISBN 978-7-81111-163-7

I. 新... II. ①乐... ②许... III. 日语—水平
考试—习题 IV. 369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 155965 号

新编日本语能力考试1级综合训练及解题指导 乐燕子 许赛锋 主编

东华大学出版社出版

上海市延安西路1882号

新华书店上海发行所发行

苏州望电印刷有限公司印刷

开本: 787×960 1/16 印张: 16.5 字数: 390千字

2007年1月第1版

2007年1月第1次印刷

印数: 0 001~5 600册

ISBN 978-7-81111-163-7/H·054

定价: 26.50元



前言

肇端于1984年的国际日语能力考试制度(即JLPT),是由独立行政法人“国际交流基金和日本财团法人以及日本国际教育支援协会”共同组织进行的日语能力水平测试,考试范围遍布世界许多国家,是衡量日语学习者掌握日语的程度,相当于美国在世界范围内进行的TOEFL考试。

伴随着我国改革开放的不断深入和日资企业的逐年增加,企业对人才需求的要求也在提高,具有专业背景并获得国际日语能力测试资格认证的求职者是企业的优先选择。而且在未来几年,对具有一定日语水平能力的人才的需求也会不断增加。目前,参加日语能力考试的考生,除了在校大学生外,还有高校以外形形色色的继续学习者,获得国际日语能力考试资质认证,已成为留学日本和在日资企业工作的重要条件,因此得到广大日语学习者的青睐。

作为外语专业的日语教师,我们总是发现,一边是如饥似渴的求学者还在增加他们的规模,一边是考试指导资料越来越不敷实际所需。历届真题集之类,对对标准答案是够了,但深度解释,周到分析,则不是目前坊间通行的诸多指导资料所愿意提供的。在一个专业教师看来,后两者对于学习者来说无疑是更加沁人心脾的,否则他们只好自己盲目推测,悬疑在心,所以费时费力,耽误事业。顾念及此,我们是不安的。编一套以1级、2级和3/4级别不同日语水平的、顺手好用的学习指导资料,是笔者琢磨很久的事情。可是琢磨得再透彻,束手不作,仍然像俗语说的,梦里走了许多路,醒来还是在床上。这个工作,虽不需要好大才能,但事到临头,常常比想象的要难得多,不但要求细致认真地搜罗原始材料,不厌其烦给它们确定唯一答案,并且必须就「文字・語彙」、「文法・読解」等方面做出解释、旁注与指导,同时还得上挂下连,左右开弓,对相似的考点尽可能地加以区分比较。比如在文字部

分,汉语“樱花”对应的日语即有「桜」、「櫻」「桜花」及「桜の花」,如何区别其发音与语言本身的时代变迁;又如语法部分的推量助动词「らしい」、比况助动词「ようだ」、样态助动词「そうだ」、传闻助动词「そうだ」,有些虽然相当于汉语的比喻词,但它却视相应本体与喻体间的关系而定夺,其精细程度远过汉语。总之,好让爱学的朋友们知其然,更知其所以然;既有即刻的实用功效,又辅助知识的提高。可是达成这个平常目标,驽钝如我者也完全不能夸口说容易。我想,也许更主要是为人师者的责任感,与积年形成的苛刻的职业本能使得这一工作增加了额外的难度吧,相信认真的读者朋友自己体会得出。苦心虽好,苦功虽下了,能不能合乎大伙的心意,实在是笔者吃不准的,还望朋友们翻检过后把你们宝贵的意见与忠告回馈编者,好让我悬着的心,稍稍踏实些。

本书的编写得到陕西师范大学外国语学院日语系王红副教授的悉心指导,同时刘卫刚先生、张建军先生、张红英女士、罗琳女士、许文军先生、胡钰先生等,他们与我们一起分享了忙碌和成绩,在此深表谢忱。

由于时间仓促,书里可能存在不妥和错误之处,敬请读者批评指正。

编 者



目 录

第 1 回模擬テスト	1
第 2 回模擬テスト	23
第 3 回模擬テスト	45
第 4 回模擬テスト	67
第 5 回模擬テスト	90
第 6 回模擬テスト	115
第 7 回模擬テスト	136
第 8 回模擬テスト	155
第 9 回模擬テスト	174
第 10 回模擬テスト	194
参考答案及解题指导	214

第 1 回模擬テスト

文字・語彙

問題 I 次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの①, ②, ③, ④ から一つ選びなさい。

【問 1】 現代の生活は、科学が生み出した便利な「道具」に囲まれている。しかし、「道具」は、便利さとは裏腹に危険も伴う。

- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| (1) 囲まれ | ① かこまれ | ② つかまれ | ③ かつまれ | ④ こつまれ |
| (2) 裏腹 | ① うらなか | ② うなか | ③ うらはら | ④ うはら |
| (3) 危険 | ① きけい | ② きけん | ③ いけん | ④ いけい |
| (4) 伴う | ① ともなう | ② かしなう | ③ となう | ④ もしなう |

【問 2】 男は膝を屈し、少女と同じ目の高さで名札を指さした。

- | | | | | |
|---------|-------|--------|--------|--------|
| (1) 屈し | ① くつし | ② くっし | ③ まげし | ④ さめし |
| (2) 名札 | ① なざつ | ② めいざつ | ③ めいふだ | ④ なふだ |
| (3) 指さし | ① ささし | ② ゆびさし | ③ しさし | ④ てきさし |

【問 3】 公募による高校生ダンス隊が、古代の衣装に身を包み、躍動感あふれる踊り「京炎そでふれ」を披露、イメージソングを合唱して締めくくった。

- | | | | | |
|--------|---------|---------|---------|--------|
| (1) 公募 | ① こぼ | ② こうぼ | ③ こぼう | ④ こうぼう |
| (2) 衣装 | ① いそう | ② ふくそう | ③ ふくしょう | ④ いしょう |
| (3) 躍動 | ① やくどう | ② しんどう | ③ てきどう | ④ たくどう |
| (4) 合唱 | ① ごうしょう | ② がっしょう | ③ かくしょう | ④ がしよ |

【問 4】 都市は目覚しい勢いで大災害を克服して、半年で見事に蘇った。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| (1) 目覚しい | ① めさましい | ② めかくましい |
| | ③ めざましい | ④ めざましい |

- (2) 災害 ① ひがい ② さいかい ③ さいがい ④ ざいがい
 (3) 克服 ① かくふく ② こくふく ③ こっぶく ④ こくぶく
 (4) 蘇った ① よみがえった ② にぎわった
 ③ とどこおった ④ あらたまった

問題Ⅱ 次の文の下線をつけたことは、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書く言葉を①,②,③,④ からひとつ選びなさい。

- (1) 貧しい家で生まれた彼女は小さいころから幸福な生活をほしがっていた。
 ① 公布 ② 降伏 ③ 拡張 ④ 工部
 (2) これこそ人を騙す彼の正体である。
 ① 生体 ② 小題 ③ 盛大 ④ 招待
 (3) 使用しない器官は進化の過程で退化した。
 ① 大家 ② 大樹 ③ 多核 ④ 代価
 (4) 私はほかの所へいくと、いつも方角がわからなくなる。
 ① 法科 ② 補角 ③ 奉告 ④ 法学
 (5) 平和な時代だといっても、いつでも戦闘準備を整える必要があるだろう。
 ① 生徒 ② 先導 ③ 銭湯 ④ 制動

問題Ⅲ 次の文の下線をつけた言葉、どのように漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの①,②,③,④ から一つ選びなさい。

【問1】 ふせいやミスを行い、市町村から報酬のへんかんを求められた事業所数もびげんながら前年度比で初めて減少にてんじた。

- (1) ふせい ① 不整 ② 風声 ③ 不正 ④ 布施
 (2) へんかん ① 変換 ② 閉館 ③ 変改 ④ 返還
 (3) びげん ① 微減 ② 非減 ③ 卑見 ④ 偏見
 (4) てんじた ① 点じた ② 伝じた ③ 向じた ④ 転じた

【問2】 げんぞんする広重のしゃせいちょうは他に1点があるだけで、希代のうきよえ師のすがおを知るきちょうな資料として注目される。

- (1) げんぞん ① 現存 ② 厳存 ③ 幻想 ④ 謙遜
 (2) しゃせいちょう

- | | | | | |
|----------|-------|--------|-------|-------|
| | ① 社製長 | ② 写生町 | ③ 車載超 | ④ 写生帳 |
| (3) うきよえ | ① 浮世絵 | ② 浮け酔え | ③ 紆余絵 | ④ 輪酔え |
| (4) すがお | ① 沙顔 | ② 素顔 | ③ 祖国 | ④ 資格 |
| (5) きちょう | ① 記帳 | ② 基調 | ③ 貴重 | ④ 機長 |

【問3】 このソフトはテキストのへんしゅうやいんさつ、ほかんに関するきのうやそうさ性が初期のものよりこうじょうしている。

- | | | | | |
|-----------|------|------|------|------|
| (1) へんしゅう | ① 編集 | ② 編修 | ③ 偏集 | ④ 篇収 |
| (2) いんさつ | ① 印札 | ② 印刷 | ③ 院冊 | ④ 診察 |
| (3) ほかん | ① 補完 | ② 輔観 | ③ 捕感 | ④ 保管 |
| (4) きんう | ① 帰納 | ② 器能 | ③ 気悩 | ④ 機能 |
| (5) そうさ | ① 操作 | ② 捜査 | ③ 総査 | ④ 装作 |
| (6) こうじょう | ① 厚情 | ② 高上 | ③ 向上 | ④ 恒常 |

問題Ⅳ 次の文の下線をつけた言葉の二重線()の部分は、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを、①、②、③、④ から一つ選びなさい。

- (1) 特別にべんぎを図ってもらう。
- ① てきぎな処置をとる。
 - ② つまの兄つまりぎりの兄。
 - ③ 毎週の木曜日の午後日本文化に関するこうぎがある。
 - ④ 国のために、かれは自分の身をぎせいにした。
- (2) またコンピュータがこしょうしてしまった。
- ① いつも事実をこちょうして話す彼女の話は信じられない。
 - ② 悪いことをたくさんして、結局支持者から反対され、こりつ状態に陥った。
 - ③ 注意すればじこが起こらない。
 - ④ じこ中心主義のものが多くなった。
- (3) そしつがあっても、努力しないと成功できない。
- ① 遺産問題でそしょうを起こした。
 - ② お金がたくさんあるが、そまつな食事生活をしている。
 - ③ 都市圏の拡大に伴って、農村はかそか現象が出てきた。

- ④ 日本語のそじができています。
- (4) 2008年オリンピックは北京でかいさいされる予定だ。
- ① 昨日の強盗事件は新聞にけいさいされた。
- ② しきさいに富んでいる絵だ。
- ③ あの地方では茶の木が盛んにさいばいされる。
- ④ 早く起きなさいと母にさいそくされる。
- (5) 敵のきょうはくに屈しない。
- ① 東京にいる間、上野はくぶつかんに行った。
- ② 政治的なはくがいを受けて、外国に逃れた。
- ③ 彼女の歌が終わって、会場に嵐のようなはくしゅが響いた。
- ④ はくしで答案を出してください。

問題Ⅴ 次の文の _____ の部分に入れるのに最も適当なものを、①、②、③、④ から一つ選びなさい。

- (1) 大都市はほとんど地域から人が集まりすぎて _____ 状態だ。
 ① 過密 ② 不潔 ③ 窮屈 ④ 緊密
- (2) いくら努力しても合格できず、 _____ なってきた。
 ① あくどく ② むなしく ③ くすぐったく ④ あっけなく
- (3) どんなことを聞かれても、博学多識を持っている彼は _____ 答えられる。
 ① 不意に ② 即座に ③ ひょっと ④ ちらっと
- (4) あの二人は小声で _____ 何を話しているんだろう。
 ① うろうろ ② いらいら ③ ひそひそと ④ きょろきょろ
- (5) 卒業して仕事もなく、毎日町でぶらぶらしたりして時間を _____。
 ① つぶしている ② ついやしている
 ③ つかいはたしている ④ かけている
- (6) 両国首脳の会談は終始 _____ な雰囲気の中で行われた。
 ① ささやかな ② ゆるやかな ③ ひやかな ④ なごやか
- (7) _____ 眺めを見ると、やる気が出てきた。
 ① けがらわしい ② うるわしい ③ まぎらわしい ④ のぞましい
- (8) 家に帰ると _____ 気分になる。

- ① ゆったりとした ② ゆるい
 ③ すがすがしい ④ ゆるやかな
- (9) 田中さんは合唱団に参加したいという _____ を先生に伝えた。
 ① 意図 ② 意向 ③ 意欲 ④ 意地
- (10) 学生は学校の _____ を守らなければならない。
 ① 心得 ② こころざし ③ こころがけ ④ 心構え
- (11) 二人の _____ はクラス全員に知られている。
 ① つながり ② なかま ③ あいだがら ④ どうし
- (12) 仕事の _____ にコーヒーを飲む。
 ① 手間 ② 空間 ③ 合間 ④ 仲間
- (13) 彼女は _____ な人で人とはあまり付き合わない。
 ① 無垢 ② 無口 ③ 無念 ④ 無茶
- (14) 急に聞かれてすっかり _____ 。
 ① まぎれた ② むらがった ③ ふくれた ④ まごついた
- (15) _____ がたまると、気持ちが悪くなるし、健康にもよくない。
 ① スマート ② ストレス ③ エネルギー ④ ムード

問題Ⅵ 次の(1)から(5)の()の言葉の意味が、それぞれの初めの文と最も近い意味で使われている文を、①, ②, ③, ④ から一つ選びなさい。

- (1) しかける…宿題をしかけたところで電話が鳴った。
 ① 毎日午前九時から仕事をしかける。
 ② 夕食の準備をしかけて、用事があるので、やめた。
 ③ 大国から戦争をしかけるのが普通だ。
 ④ 部屋にクーラーをしかけた。
- (2) けっこう…けっこうな贈り物をもらった。
 ① これだけあればけっこうだ。
 ② あしたから来なくてもけっこうだ。
 ③ けっこうな庭だね。
 ④ まだ時間があるから、けっこう間に合う。
- (3) おびる…重い任務をおびる。
 ① 身に電子辞典をおびている。

- ② マイナス電気をおびる。
- ③ 父の残された負債をおびる。
- ④ 緑をおびた都市で生活したい。
- (4) うけとめる…私の気持ちをうけとめたのは母だけだ。
- ① 殴りかかるのを片手でうけとめる。
- ② 激しい敵の攻撃を何回もうけとめた。
- ③ 学校は学生の要求をうけとめて,改革案を検討することにした。
- ④ ボールをうけとめる。
- (5) あてる…着物を日にあてる。
- ① これがいったいどんなものかあててみてください。
- ② 耳を壁にあてて,ひっそりと彼らの話を聞く。
- ③ 馬に鞭をあてると,速く走り出す。
- ④ 雨にあてると,風邪を引く。
- (6) だす…バスで窓から首をださないでください。
- ① 町で財布をださないでください。
- ② 彼はいつも気持ちを顔にだす。
- ③ 金曜日までに宿題をだしてください。
- ④ 家へ手紙をだす。
- (7) ちゃんと…ちゃんとした生活をする。
- ① 彼は外国で留学したことがあるが,どんなことでもちゃんとしたやり方をとる。
- ② 父が仕事を失ってから,うちの家賃はちゃんと月々払うことができなくなった。
- ③ 勘定はちゃんと合っている。
- ④ 買った用品は明細書にちゃんと書いてある。
- (8) うるさい…うるさくつきまとう。
- ① 髪がうるさいから,午後床屋へいくことにした。
- ② 彼はイギリス文学にはちゃつとうるさい。
- ③ 話し声がうるさくても勉強できる人がある。
- ④ うるさそうにインタビューを拒否した。

(9) かるい…かるい病気でも大変な病気を引き起こす可能性がある。

- ① 修士論文を書き終わって、身も心もかるくなった。
- ② かるい仕事でもまじめにやるべきだ。
- ③ 彼女はとてもかるい女で、恋人が何人も変わった。
- ④ かるい傷だから、すぐ治る。

(10) そろそろ…そろそろ9時だ。

- ① 彼女はいつもそろそろ歩いている。
- ② 8月からそろそろ涼しくなってきた。
- ③ さあそろそろ出発しましょう。
- ④ そろそろ帰国時間になった。



問題Ⅰ 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、①、②、③、④ から最も適当なものを一つ選びなさい。

朝夕、早春らしい寒さのゆるみを感じられるようになってきた。

日本の気候は四季のうつりかわりが、こまやかであるから、冬がすぎて寒いながらも素足(注1)のたたみざわりがさわやかに思われて来たりする、微妙な季節の感覚がある。

文学に季節がはっきり反映しているし、又作家が季節につながった思い出として故郷の春や、故郷の秋景色についてたずねられる場合も、なかなか少くない。

そういう時、私は自分に故郷と名づけるところがないということをよく感じる。私は東京で生れて、ずっと東京で育ったから、ここが故郷といえはいえよう。けれども、よそに出て暮しているのではないから、例えば、大阪で生れて育った人が現在では東京暮らしをしているとか、反対に東京生れの人が大阪にいて、武蔵野の景色を故郷として思いうかべる心持とは大変にちがう。

外国生活の間には、誰も自分の生れた国をさまざまの面から深くながめ、理解するものであるが、この場合には面白いことに、日本というものが総括的につかまれて、世界のただ中(注2)でそれが感じられるのであるから、その気持も、またいわ

ゆる故郷をおもう気持といささか違った複雑な内容をもっている。

私の父は山形県の米沢に生まれて、少年時代をそこで暮した。父の気質は明るく活動的であったから、自分の仕事のあるところを生活の土地として、どちらかといえば故郷を忘れて生活した。それでも老年にはいつてから、たべものが変わるにつれ、いつとはなし米沢でたべたもの、例えば粒のこまかい納豆だの、納豆もちだのを好んで食べるようになった。

私は興味をもって、その移りかわりを見ていた。

故郷をもつ人が、病氣などしたり、暮しが不如意になって来たりして、故郷に心をひかれ、空想の中で、ひとしお^(注3)なつかしく思われる故郷に、やすみや生活のたつき^(注4)をもとめてゆく人がこの頃のような世の中では数の多いことであろう。

そのようにして故郷にかえった人の何割が、果して現実の故郷で心に描いていたものをみだし得ているであろうか。やはり故郷にかえってみても自分はここに生涯を終る人間でないという感じを深めている人が多い。経済的な点からもこのことはきいている。

文学の創造の中で故郷は昔と違った実際の姿でかけられるときがきいている。ましてや現在、それぞれの大都会で、或は山間の企業のある場所で生活とたたかっている人々の多くは、すでに故郷を捨てて祖先の墓のある土地から根をきられて、そこへ動いている。

故郷のない人々の文学が、故郷というものについての新しい文学的要素をかもしつつあるのだと思われる。

(注5)

(宮本百合子「故郷の話」青空文庫による)

(注1) ^{すあし}素足：履物をはかない足

(注2) ただ中：真ん中、中心

(注3) ひとしお：ひときわ、一層、一段

(注4) たつき：生活の手段、生計

(注5) かもす：ある雰囲気などを作り出す；次第につくり出す。

【問い1】「そういうとき」とは、どんなときを指しているか。

- ① 故郷のある人が帰郷して故郷の季節の変化を感じる時
- ② 作家が思い出としての故郷の季節についてたずねられる時
- ③ 文学作品に季節の移り変わりがはっきり反映している時
- ④ 作家が故郷の季節への思い出を文学作品に反映している時

【問い2】「私は自分に故郷と名づけるところがないということをよく感じる」

とはなぜか。

- ① 私は東京で生まれて育ったが、父は東京の人でないから。
- ② 私は東京以外のところで暮らしたことがないから。
- ③ 私は今自分が生まれて育ったところで暮らしているから。
- ④ 私は故郷と名づけるところに帰ったことがないのであまり印象がないから。

【問い3】 第6段落の内容と合っているものは、どれか。

- ① 父は若いとき、仕事のあるところを故郷としていた。
- ② 父は老年に入ってから、故郷のことを思うようになった。
- ③ 父はずっと故郷のことを忘れて生活してきた。
- ④ 父は故郷のことを忘れたが、故郷の食べ物を好んで食べていた。

【問い4】 「そのようにして帰った人」の結果について筆者の説明と合うものはどれか。

- ① 故郷は自分の生涯を終わるところでないと一層認識して離れると考えられる。
- ② 現実の故郷で自分の心に描いたものを見出せないと離れないつまりである。
- ③ 故郷で自分の求めたいものを見いだしたから、これから故郷に住む。
- ④ 故郷には自分の求めるものがないが、ここで一生を終わる。

【問い5】 この文章では筆者は最も言いたいことは次のどれか。

- ① 故郷の持つ人は結局実際の故郷で自分の心に描いたものを見出せないことが多い。
- ② 故郷のない人々の文学は故郷というものについて新しい文学的要素をもたらしている。
- ③ 私のような故郷と名づけるところのない人は故郷というものが理解できない。
- ④ 故郷があっても仕事のあるところで長く生活していれば、故郷のことも忘れてしまう。

問題Ⅱ 次の(1)から(4)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを①,②,③,④ から一つ選びなさい。

 (1) オリは暗号なのか。もとの歌詞を知らない限りメッセージを解読できないという意味では、オリは暗号といえるかもしれない。しかし、もしオリが暗号なら、暗号化の手順である共通コードがしっかりとあり、それを共有すれば誰でも解読することができる。しかし、オリはそうではない。定められた暗号化の手順といったものではなく、結局、オリを作った唄い手と直伝された者にしか意味は分からないのである。西洋社会との接触を受ける以前の先住ハワイ人の社会にあっては唄はあきらかに霊的な力を発揮するメディアであったはずだ。先住ハワイ人の唄い手たちは、唄の意味が隠されているというオリのあり方こそが、真に唄に力を与える源泉だと考えたのかもしれない。そして、オリを聴く人々も、オリがそのような力を秘めていることに価値があるのだということを了解していたに違いない。

このことを別の視点からみれば、「意味は隠されている。そのことを意識せよ」ということをかつての先住ハワイ人たちは、オリをとおしてつねに再確認していたといってよいだろう。

(①), ハワイが西洋文明と接して約 200 年の時が流れた今日、現実には、すでに多くのオリの意味が研究者や演奏家自らによって明らかにされ、私たちは、オリの意味を理解しながらその美しい響きを楽しむことができる。オリを記録した音楽テープやCDなどには、アルファベットで採譜されたハワイ語とその英文訳の歌詞カードが添付されており、それを読めばよいのである。

このことをどう考えればよいのだろうか。選ばれた特権的なエリートにしか理解できなかったオリの意味が、メディアによってすべての人々に平等に開放されたと考えるのか、それとも、オリはメディアによってその力の源泉を失うべく仕向けられたと考えるのか。どちらの考え方も間違っていない。しかし、(注1) どちらかといえば、私たちが価値を認め、力を注いできたメディアの機能とは、人々の平等に知識や情報を正しく効率的に伝達する存在としてのメディアであり、それを可能にする技術(テクノロジー)だったのではないだろうか。すべてを暴き、あまねく正確に伝達するメディアの力を追求してきた(注2) 私たちは、そのメディアによって奪い取られた唄の力について忘れ、さらに、意味は隠されている

ものだという自覚を失ってしまったに違いない。

(注1) 仕向ける: ある動作をするように働きかける。

(注2) あまねく: すべてにわたって, 広く。

【問い1】 (①)に入れるのに適当な言葉はどれか。

- ① しかし ② そして ③ だから ④ それにしても

【問い2】 オリの特徴として筆者の説明に合っているものはどれか。

- ① オリは暗号といえるが, 暗号化の手順といったものがないので, もとの歌詞がわからない限りメッセージを解読できない。
② オリは暗号と違って, 共通コードがなく意味が隠されていて, 唄い手とその直伝された者にしか意味はわからないのである。
③ 今日ではオリの意味はメディアによってすべての人々に開放され理解できる一方, 意味が隠されているものだと考えられている。
④ 昔オリの意味は選ばれた特権的なエリートにしか理解できなかったもので, 唄にぜんぜん価値がないと思われていた。

【問い3】 筆者がこの文章で言おうとするものと合っているのはどれか。

- ① オリの意味は人々の追求してきたメディアの力によって開放されるべきだ。
② オリの意味は多くの人々に知られて理解できるからこそ, 価値があるものである。
③ 特権的なエリートしか理解できなかったオリの意味はすでに今日大衆に知られた。
④ オリの意味はメディアによって開放されるにともなって, 意味が隠されるものだとも忘れられた。

開国以来, ことに明治維新以来, 西洋から流れ込んできたいわゆる近代技術には, 今だにその舶来の性質が残っている。という意味はかならずしも外来文化の消化不良ということではない。むしろ, それぞれの分野でほとんどすべての技術は, 十分に消化され, たとえば日本の紡績機械はアジアの市場で英国製品と競争しているし, またたとえば, 憲法が「アメリカから押し付けられた」といくら言い張っても容易に「改正」できないのは, それがよく消化されてもはや自分のものとなっているからであろう。しかし, それぞれの分野を